

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月28日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 セガトイズ

コード番号 7842 URL <http://www.segatoys.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 國分 功

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役コーポレート本部長

(氏名) 菅野 暁

TEL 03-5822-6244

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	8,755	3.4	△241	—	△250	—	△815	—
21年3月期第2四半期	8,465	—	8	—	△13	—	△16	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△37.87	—
21年3月期第2四半期	△0.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	7,053	2,526	35.3	115.51
21年3月期	6,602	3,328	50.1	153.59

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,487百万円 21年3月期 3,307百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	△5.0	△180	—	△200	—	△1,500	—	△69.65

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(注) 詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	21,536,100株	21年3月期	21,536,100株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	—株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	21,536,100株	21年3月期第2四半期	21,513,969株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、経済情勢、市場動向など様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大企業の輸出、生産面などに持ち直しの動きや、企業収益の減少幅が緩やかになっていることなど景気に底打ちの兆しこそ見られたものの、個人消費については、失業率が過去最悪の水準を推移するなど厳しい雇用情勢や所得環境の悪化により景気の回復感はなく、生活防衛意識や節約志向が高まるなど個人消費は弱含みに推移いたしました。

このような状況の中、当社グループはエンドユーザーの価値を徹底的に追求し、当社の強みであるデジタル技術の活用や他社とのアライアンス等を通じ、新しい価値の創造、新しい市場の開拓に取り組んでまいりました。また当期は、以下の4項目を重点目標に掲げ、業績の回復に努めておりますが、当第2四半期連結累計期間における進捗は以下の通りであります。

## ①国内事業の復活

商品の質と量を揃え、選択と集中による効率化を図ることにより、国内事業の早期回復に努めております。当第2四半期連結累計期間におきましては、当期話題のクッキングトイの新製品「つきたておもちゃくるりんもっちゃん」や、家の中で花火大会の気分が楽しめる「家あげ花火」、子供だけでなくシニアにも人気の「夢ねこヴィーナス」、NHK教育番組の新キャラクター「モノランモノラン」などの新製品を発売いたしました。定番シリーズである「ホームスター」、「スプレーアート」、アンパンマンシリーズなどは好調に推移いたしました。折からの消費不況の影響もあり全般的には低調に推移しております。これにより、当第2四半期連結累計期間における国内の売上高は前期比32.7%減となる2,764百万円と前年同期を大きく下回る結果となりました。

## ②グローバル事業の拡大

男児キャラクター「爆丸」の海外展開を推進するとともに、「爆丸」に次ぐ新たなグローバルコンテンツの開発にも取り組んでおります。「爆丸」の展開地域については、当期は北米からヨーロッパへと拡大しており、北米においては「爆丸2」の展開がスタートしております。これに伴い玩具の販売も引き続き好調に推移しております。これにより、当第2四半期連結累計期間における海外の売上高は前期比37.6%増となる5,991百万円と前年同期を大きく上回る結果となりました。

## ③子会社の再構築

グループ経営の効率化を図るため、連結子会社の事業見直しを行っております。当第2四半期連結累計期間においては、子会社である株式会社レムアートを清算し、11月に結了見込みであります。また、子会社である株式会社タイヨーについてもラジオコントロール玩具の売上減少と経営悪化に伴い、事業の整理と見直しを行っております。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「連結子会社の解散及び清算に伴うラジオコントロール玩具事業の譲受けに関するお知らせ」をご参照下さい。

## ④組織機能の改革

前年より導入した「執行役員制」により、責任権限を委譲し意思決定のスピードアップを行っております。また、企画・マーケティング機能の改革に着手し商品力の強化を図る一方、開発から生産に関わる専任部署を設置することでコスト低減・納期短縮・品質確保も図っております。さらに、国内販売体制の見直しによる国内販売計画及び「生・販・在」管理の精度向上、社内管理体制の強化にも取り組んでおります。

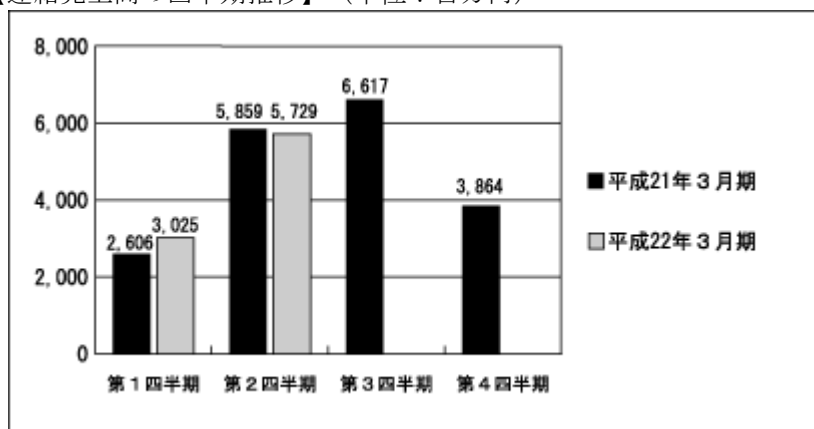
これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、国内の売上高は前年同期を大きく下回りましたが、海外において「爆丸」が引き続き前年同期を上回り好調に推移したため、売上高8,755百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

利益面に関しましては、選択と集中による販売費及び一般管理費の効率化を推進したものの、売上総利益率の高い国内売上高が大幅に減少したため、カバーするには至らず営業損失241百万円（前年同期は営業利益8百万円）、経常損失250百万円（前年同期は経常損失13百万円）となりました。また、連結子会社の経営悪化に伴い、子会社整理損として371百万円を計上いたしました。また、業績悪化に伴う繰延税金資産の取崩等により、法人税等調整額として119百万円を計上いたしました。これにより、四半期純損失は815百万円（前年同期は四半期純損失16百万円）となりました。

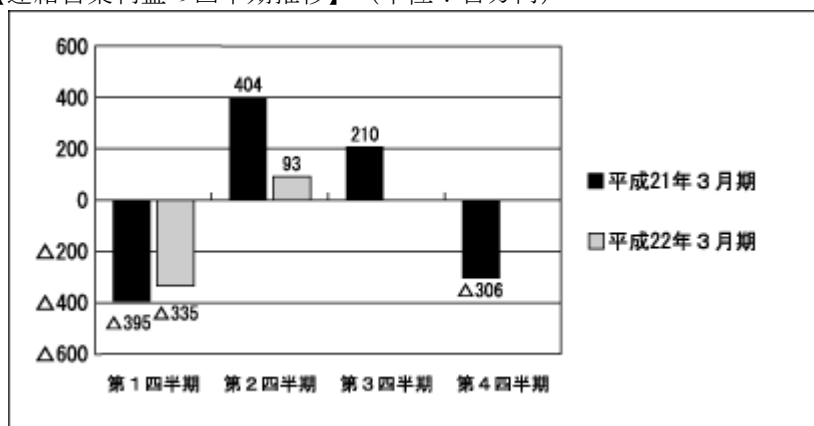
<当社グループの通期及び四半期業績の特性について>

玩具業界においてはクリスマス及び年始商戦が最大の商戦期であることにより、売上高については第3四半期が最も多く、第1・第4四半期が相対的に少なくなる傾向があります。また、営業利益については第1・第4四半期の売上高の絶対額が少ないと営業損失となり、第3四半期はその年の在庫処理費用を多く計上すると、売上高の伸びと同じ率では増加しない傾向があります。

【連結売上高の四半期推移】（単位：百万円）



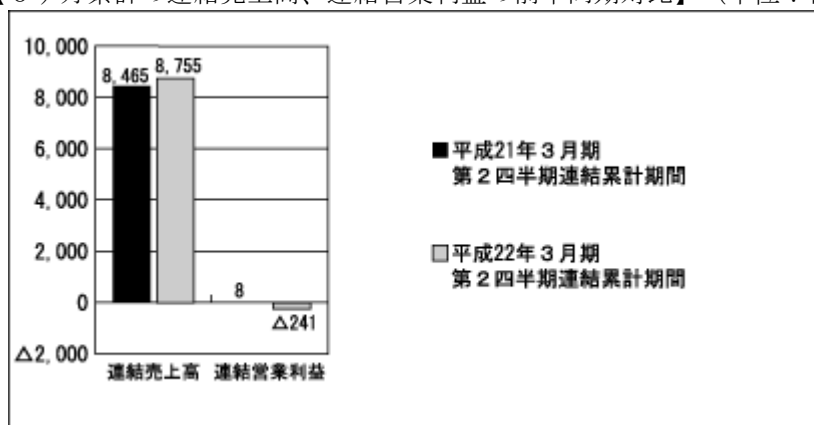
【連結営業利益の四半期推移】（単位：百万円）



<前年同期との対比による6ヶ月累計連結業績>

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高8,755百万円（前年比3.4%増）、営業損失241百万円（前年同期は営業利益8百万円）、経常損失250百万円（前年同期は経常損失13百万円）、四半期純損失815百万円（前年同期は四半期純損失16百万円）となりました。

【6ヶ月累計の連結売上高、連結営業利益の前年同期対比】（単位：百万円）



## ＜カテゴリ別連結売上高、連結営業利益＞

【カテゴリ別の連結売上高、連結営業利益の前年同期対比】（単位：百万円）

			平成21年3月期 第2四半期 連結累計期間	平成22年3月期 第2四半期 連結累計期間	前期比	
玩具事業	エデュテイメント 関連	連結売上高	513	310	-39.6%	
		連結営業利益	△ 77	△ 84	—	
	ファミリーエンター テイメント関連	連結売上高	2,418	956	-60.5%	
		連結営業利益	△ 30	△ 276	—	
	NEWコンテンツ ビジネス関連	連結売上高	4,397	6,807	+54.8%	
		連結営業利益	129	268	+107.8%	
	ホビー関連 その他	連結売上高	1,000	557	-44.3%	
		連結営業利益	8	△ 167	—	
	玩具事業 計		連結売上高	8,330	8,632	+3.6%
			連結営業利益	30	△ 260	—
その他事業		連結売上高	135	123	-8.9%	
		連結営業利益	△ 21	18	—	
合 計		連結売上高	8,465	8,755	+3.4%	
		連結営業利益	8	△ 241	—	

(カテゴリ別の連結売上高の国内・海外内訳)

## ①玩具事業

エデュテイメント関連につきましては、ビーナシリーズの男児向け、女児向けの新作ソフト、及び「アンパンマンをさがせ！」の本体セットを新たに発売しましたが前年同期を下回る結果となり、連結売上高310百万円（前年同期比39.6%減）、連結営業損失84百万円（前期同期は営業損失77百万円）となりました。

ファミリーエンターテイメント関連につきましては、国内は「ホームスター」シリーズは好調に推移しましたが、「夢ペット」シリーズ、大人向けエンターテイメントでは新製品を発売したものの低調に推移しました。海外は「ホームスター」を新たに発売し、前期まで好調の「idog」シリーズは終焉期となりました。これにより、連結売上高956百万円（前年同期比60.5%減）、連結営業損失276百万円（前年同期は営業損失30百万円）となりました。

NEWコンテンツビジネス関連につきましては、国内は定番製品のアンパンマンシリーズやNHK教育番組の新キャラクター「モノランモノラン」は堅調に推移しました。海外は「爆丸」が引き続き欧米市場でヒットし好調に推移しました。これにより、連結売上高6,807百万円（前年同期比54.8%増）、連結営業利益268百万円（前年同期比107.8%増）となりました。

ホビー関連その他につきましては、連結子会社である株式会社タイヨーのラジオコントロール玩具の売上の大幅な減少の影響もあり、連結売上高557百万円（前年同期比44.3%減）、連結営業損失167百万円（前年同期は営業利益8百万円）となりました。

## ②その他事業

その他事業につきましては、利益率の高い映像出資収入が増加した反面、モバイルコンテンツ収入及びライセンス収入の減少により、連結売上高123百万円（前年同期比8.9%減）、連結営業利益18百万円（前年同期は営業損失21百万円）となりました。

## &lt;国内・海外別連結売上高、連結営業利益&gt;

【国内・海外別の連結売上高、連結営業利益の前年同期対比】（単位：百万円）

		平成21年3月期 第2四半期 連結累計期間	平成22年3月期 第2四半期 連結累計期間	前期比
国内	連結売上高	4,110	2,764	-32.7%
	連結営業利益	△ 266	△ 446	—
海外	連結売上高	4,355	5,991	+37.6%
	連結営業利益	275	204	-25.8%
合計	連結売上高	8,465	8,755	+3.4%
	連結営業利益	8	△ 241	—

(連結売上高の国内・海外内訳)

当第2四半期連結累計期間における国内の連結売上高は2,764百万円（前年同期比32.7%減）となり、前年同期を大きく下回りました。当期話題のクッキングトイの新製品「つきたておもち くりんもっちー」や、家の中で花火大会の気分が楽しめる「家あげ花火」、子供だけでなくシニアにも人気の「夢ねこヴィーナス」、NHK教育番組の新キャラクター「モノランモノラン」などの新製品を発売しました。定番シリーズである「ホームスター」、「スプレーアート」、アンパンマンシリーズなどは好調に推移しましたが、折からの消費不況の影響もあり全般的には低調に推移し、連結子会社である株式会社タイヨーのラジオコントロール玩具の販売不振も影響しました。海外の連結売上高は5,991百万円（前年同期比37.6%増）と、前年を大幅に上回りました。これは、欧米市場における男児キャラクター玩具「爆丸」が引き続き好調に推移したことによるものであります。

(連結営業利益の国内・海外内訳)

当第2四半期連結累計期間における国内の連結営業損失は446百万円（前年同期は営業損失266百万円）となり、連結売上高の減少に伴い前年同期を大幅に下回りました。海外につきましては、連結営業利益204百万円（前年同期比25.8%減）となりました。これは、「爆丸」の販売好調により連結売上高は前年を大幅に上回りましたが、翌期にむけた開発投資の増加により、連結営業利益が減少したことによるものであります。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ450百万円増加し、7,053百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が646百万円、のれんが101百万円、繰延税金資産が119百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が1,531百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,252百万円増加し、4,527百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が862百万円、社債が384百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ802百万円減少し、2,526百万円となりました。主な要因は、四半期純損失を815百万円計上したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末比646百万円減少し、1,616百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、減少した資金は840百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失622百万円を計上し、売上債権が1,548百万円、仕入債務が862百万円が増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は274百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出267百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、増加した資金は460百万円となりました。これは主に、長期借入による収入100百万円、社債の発行による収入490百万円によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を考慮した上で、本日、通期の業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

在外子会社の収益及び費用の換算方法

従来、在外子会社の収益及び費用は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更いたしました。

この変更は、著しい為替相場の変動により、在外連結子会社の経営成績を正しく表示できない可能性があるため、変動が少ない平均の為替相場を用いることにより、より実状に即した企業状況を表示するために行ったものであります。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,621,591	2,267,768
受取手形及び売掛金	3,475,720	1,943,721
たな卸資産	940,136	996,520
繰延税金資産	1,493	82,692
その他	142,581	391,723
貸倒引当金	△3,316	△4,333
流動資産合計	6,178,208	5,678,094
固定資産		
有形固定資産	534,571	448,557
無形固定資産	61,032	164,708
投資その他の資産	247,263	283,758
固定資産合計	842,867	897,023
繰延資産	32,385	27,765
資産合計	7,053,460	6,602,882
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,075,284	1,212,389
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	50,000	—
1年内償還予定の社債	633,500	349,750
未払法人税等	12,621	636
その他	504,895	597,639
流動負債合計	3,306,301	2,190,416
固定負債		
社債	1,170,000	1,069,250
長期借入金	37,500	—
その他	13,205	14,444
固定負債合計	1,220,705	1,083,694
負債合計	4,527,007	3,274,110



(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,735,684	1,735,684
資本剰余金	1,755,785	1,755,785
利益剰余金	△993,855	△178,293
株主資本合計	2,497,614	3,313,176
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△210	△351
為替換算調整勘定	△9,757	△5,188
評価・換算差額等合計	△9,967	△5,540
新株予約権	38,806	21,136
純資産合計	2,526,453	3,328,772
負債純資産合計	7,053,460	6,602,882

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	8,465,904	8,755,659
売上原価	6,439,264	7,152,292
売上総利益	2,026,640	1,603,367
販売費及び一般管理費	2,017,772	1,845,212
営業利益又は営業損失(△)	8,867	△241,844
営業外収益		
受取利息	1,647	130
投資事業組合収益	8,167	4,075
その他	5,047	18,471
営業外収益合計	14,862	22,677
営業外費用		
支払利息	7,445	9,208
支払保証料	3,957	5,625
為替差損	19,701	9,894
その他	5,652	6,168
営業外費用合計	36,756	30,896
経常損失(△)	△13,027	△250,064
特別損失		
子会社整理損	—	371,944
特別損失合計	—	371,944
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,027	△622,008
法人税、住民税及び事業税	4,763	74,319
法人税等調整額	1,328	119,234
法人税等合計	6,092	193,554
少数株主損失(△)	△2,614	—
四半期純損失(△)	△16,505	△815,562

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,859,146	5,729,865
売上原価	4,396,553	4,673,511
売上総利益	1,462,593	1,056,353
販売費及び一般管理費	1,058,294	962,761
営業利益	404,298	93,592
営業外収益		
受取利息	874	101
投資事業組合収益	3,485	1,301
その他	2,758	11,921
営業外収益合計	7,118	13,324
営業外費用		
支払利息	3,385	5,172
支払保証料	1,986	3,143
社債発行費償却	—	2,992
為替差損	20,654	328
その他	2,954	204
営業外費用合計	28,981	11,841
経常利益	382,435	95,076
特別損失		
子会社整理損	—	361,838
特別損失合計	—	361,838
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	382,435	△266,761
法人税、住民税及び事業税	3,237	46,669
法人税等調整額	△2,548	120,305
法人税等合計	688	166,975
少数株主損失(△)	△799	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	382,546	△433,736

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	△13,027	△622,008
減価償却費	223,802	176,387
のれん償却額	16,865	16,865
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,786	△9,834
受取利息及び受取配当金	△1,666	△147
支払利息	7,445	9,208
為替差損益(△は益)	19,491	△12,129
子会社整理損	—	368,578
売上債権の増減額(△は増加)	△1,663,007	△1,548,732
たな卸資産の増減額(△は増加)	276,432	△130,159
仕入債務の増減額(△は減少)	997,600	862,894
未払費用の増減額(△は減少)	△73,061	66,273
その他	107,498	△17,527
小計	△94,840	△840,331
利息及び配当金の受取額	8,159	147
利息の支払額	△7,229	△8,260
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△19,588	8,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	△113,499	△840,383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△221,237	△267,715
無形固定資産の取得による支出	△17,413	△6,373
その他	241	△522
投資活動によるキャッシュ・フロー	261,590	△274,611
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△400,000	—
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△30,000	△12,500
社債の発行による収入	929,299	490,210
社債の償還による支出	△590,500	△115,500
株式の発行による収入	11,229	—
リース債務の返済による支出	△723	△1,238
配当金の支払額	△403	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,097	460,872
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,027	7,945
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	47,965	△646,176
現金及び現金同等物の期首残高	1,601,003	2,262,768
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,648,968	1,616,591

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

当社連結グループは、玩具の企画、開発及び販売を主たる事業としておりますが、当該事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

当社連結グループは、在外子会社が1社存在しますが、当該所在地における売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が10%未満であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,420,225	143,398	569,939	68,664	3,202,228
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	5,859,146
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	41.3	2.5	9.7	1.2	54.7

(注)1 地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米 …… 米国、カナダ
- (2) アジア …… 韓国、台湾、シンガポール
- (3) ヨーロッパ …… イギリス、フランス、ドイツ
- (4) その他の地域 …… オーストラリア

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

	北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,248,664	360,485	1,008,244	286,275	3,903,668
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	5,729,865
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	39.2	6.3	17.6	5.0	68.1

(注)1 地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米 …… 米国、カナダ
- (2) アジア …… 香港、シンガポール
- (3) ヨーロッパ …… イギリス、フランス、ドイツ、スペイン
- (4) その他の地域 …… オーストラリア

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	3,200,832	443,918	602,439	108,612	4,355,803
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	8,465,904
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	37.8	5.3	7.1	1.3	51.5

- (注) 1 地域は、地理的近接度により区分しております。  
 2 本邦以外の区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。
- (1) 北米 …… 米国、カナダ
  - (2) アジア …… 韓国、台湾、シンガポール
  - (3) ヨーロッパ …… イギリス、フランス、ドイツ
  - (4) その他の地域 …… オーストラリア

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	3,609,716	556,996	1,372,830	451,961	5,991,504
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	8,755,659
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	41.2	6.4	15.7	5.2	68.4

- (注) 1 地域は、地理的近接度により区分しております。  
 2 本邦以外の区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。
- (1) 北米 …… 米国、カナダ
  - (2) アジア …… 香港、シンガポール
  - (3) ヨーロッパ …… イギリス、フランス、ドイツ、スペイン
  - (4) その他の地域 …… オーストラリア

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
 該当事項はありません。